

職場における熱中症対策について 講習会を開催

群馬県ダクト工業会

7月30日、前橋市・三朋企業(株)前橋営業所において、「職場における熱中症対策の強化について」と題し、講習会を開催した。講師は、(株)ミツバ環境ソリューションの衛生工学衛生管理者・高田貴氏と熱中症予防管理者・椎名哲士氏。

講師は、令和7年6月1日より施行された改正労働安全衛生規則について、職場における熱中症予防対策が義務化され、現場での対応及び対策が必須になった旨を説明した。

主に、①作業環境管理(暑さ指数の低減等)、②作業管理(作業時間の短縮等)、③健康管理、④労働衛生教育の4つの対策があり、全てを講じる必要があると解説。講じなかった場合のリスクについて触れ、現場の熱中症対策の見直しを促した。



必要な対策を確認する参加者

イノベーション伴走支援事業における 「マーケティング支援型事業」が始動

群馬県醤油味噌工業(協)

8月8日、前橋市・組合事務所において、中央会のイノベーション伴走支援事業「マーケティング支援型事業」を活用した第1回委員会を開催。

本事業では、群馬県における醤油と味噌の地域の食文化に着目し、県産の醤油と味噌をテーマとしたイベント「群馬発酵ごはんフェス」を企画・実行する。イベントは、本年の10月4日(土)に

道の駅まえばし赤城での開催を予定。物産の出展者には、群馬県菓子(工)や群馬県漬物工業(協)からも組合員の参加を予定している。また、物産の他にも醤油と味噌についてより深く知ってもらうための様々な催しを実施する。

本委員会では、「群馬発酵ごはんフェス」の開催当日の内容と当日までの準備・スケジュールを検討。特に、予定している「醤油のお話と利き醤油体験」や「醤油味噌クイズ」等の催しについて具体的に話し合い、イベント参加者を増やす工夫や懸念点について意見を出し合った。



各々がアイデアを出し、ブラッシュアップを行った

「先進組合事例集」の掲載に向けた ヒアリングに協力

ぐんまみらい信用組合

8月25日、高崎市・ぐんまみらい信用組合本店において、全国中小企業団体中央会の「組合資料収集加工事業」に関するヒアリングに協力した。

本事業は、組合が新たな事業活動への挑戦や組織体制の見直し等を行う際の参考になるよう、全国中央会が各県より報告書を集め、先進組合事例集としてまとめているもの。

今回、当組合の移動金融車「鶴もう号」導入の事例について、中小企業診断士の阿左美義春氏と中央会職員の聞き取りに対応した。

鶴もう号は、店舗から遠隔にある地域や少子高齢化及び人口減少が進む地域への金融サービス提供のために導入した。地域貢献のためのBCP対応機能ももっており、積載した非常用電源は、災害時の応急支援に役立ter。



(左)ヒアリングの様子
(右)荷台部分が横にせり出て拡張する鶴もう号